

1 - 3 アガリクス・植物発酵エキスを配合した健康食品 (KE-33) の免疫賦活作用

○深澤洋子、谷田貝浩三、松本 健、市川文雄（日水製薬株式会社）

【目的】 アガリクス (*Agaricus blazei Murill*) 及び植物発酵エキスは共に免疫賦活作用を有することが知られている。我々は当社が開発したアガリクス・植物発酵エキス配合健康食品 (KE-33) の免疫賦活作用について腫瘍細胞増殖抑制作用、サイトカイン (TNF- α) 産生誘導作用及び NK 細胞活性化作用の検討を行った。

【方法】 マウス腫瘍細胞増殖抑制作用；マウス皮下にマウス乳腺癌 (Ca755) を移植後、KE-33 を 14 日間経口投与した。15 日目に腫瘍の湿重量を測定した。TNF- α の産生誘導試験；既報に従い、マウスに KE-33 を経口投与し、抗癌剤として使用されているピシバニールで TNF- α を誘導したとき、誘導される TNF- α 量を ELISA により測定した。NK 細胞活性化作用；マウスに KE-33 を投与し、脾臓より細胞を調整した。標的細胞には ^{51}Cr でラベルしたマウス NK 細胞感受性細胞である YAC-1 を用い、NK 活性を測定した。

【結果】 腫瘍細胞増殖抑制作用；KE-33 投与マウスは対照群に比べて有意に腫瘍細胞の増殖を抑制していた (抑制率 65%)。TNF- α の産生誘導試験；KE-33 投与マウスでは、アガリクス及び植物発酵エキス単独投与群よりも TNF- α の誘導が高まっていた。NK 細胞活性化作用；KE-33 投与マウスではアガリクス及び植物発酵エキス単独投与群よりも NK 細胞活性が高まっていた。

【結論】 当社開発の KE-33 はマウスに対して腫瘍細胞増殖抑制効果を示した。そして、その効果は、TNF- α の誘導や NK 細胞の活性化等の免疫賦活作用が関与することが示唆された。また、これら効果が各成分単独よりも KE-33 の方が大きかったことから、各成分の相乗効果であることが認められた。